

各 位

会 社 名 株式会社富士テクノホールディングス
(コード番号 9243 TOKYO PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役会長 高井 男
問 合 せ 先 代表取締役社長 岩澤 隆則
T E L 046-294-1070
U R L <http://www.fjt-hd.co.jp>

(訂正)「2026年3月期 中間決算短信[日本基準] (連結)」の一部訂正について

当社は、2025年11月21日に公表した「2026年3月期 中間決算短信[日本基準] (連結)」の記載内容について一部訂正がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

「2026年3月期 中間決算短信[日本基準] (連結)」の発表後、営業活動によるキャッシュフロー(利息)、投資活動によるキャッシュフロー(定期預金)、現金及び現金同様物の項目の金額に誤りがありましたので、訂正を行うものであります。

2. 訂正内容

【3ページ】

(訂正前)

(2) 財政状態に関する説明

②キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、502百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は65百万円(前年同期は18百万円の獲得)となりました。これは主として、税金等調整前中間純利益52百万円、のれん償却額17百万円、賞与引当金8百万円により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は49百万円(前年同期は5百万円の使用)となりました。これは主として、定期預金の預入による支出80百万円、定期預金の払戻による収入39百万円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は89百万円(前年同期は52百万円の使用)となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出75百万円、配当金の支払額16百万円により資金が減少したことによるものであります。

(訂正後)

(2) 財政状態に関する説明

②キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、513百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は65百万円（前年同期は18百万円の獲得）となりました。これは主として、税金等調整前中間純利益52百万円、のれん償却額17百万円、賞与引当金8百万円により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は49百万円（前年同期は5百万円の使用）となりました。これは主として、定期預金の預入による支出50百万円、定期預金の払戻による収入8百万円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は89百万円（前年同期は52百万円の使用）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出75百万円、配当金の支払額16百万円により資金が減少したことによるものであります。

【9ページ】

(訂正前)

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	38,672	52,382
減価償却費	4,950	5,597
のれん償却額	17,835	17,835
賞与引当金の増減額（△は減少）	△3,561	8,741
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	4,708	1,105
受取利息及び受取配当金	△53	△452
支払利息	4,903	5,091
保険解約益	1,182	—
売上債権の増減額（△は増加）	14,328	3,352
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,073	△4,348
仕入債務の増減額（△は減少）	2,008	△4,072
未払費用の増減額（△は減少）	△29,312	8,099
未払消費税等の増減額（△は減少）	△5,781	612
その他	△6,675	△4,319
小計	42,132	89,626
利息及び配当金の受取額	52	<u>343</u>
利息の支払額	△4,903	△5,091
法人税等の支払額	△19,253	△19,612
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,027	<u>65,265</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,639	△2,161
無形固定資産の取得による支出	△1,490	—
リース資産の取得による支出	880	712
保険積立金の積立による支出	△3,563	△3,563
保険積立金の解約による収入	361	—
定期預金の預入による支出	—	△80,739
定期預金の払戻による収入	—	<u>39,503</u>
その他	—	△3,036
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,451	△49,284
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	41,000	15,000
長期借入金の返済による支出	△77,886	△75,392
社債の償還による支出	—	△10,000
リース債務の返済による支出	△2,376	△3,077
配当金の支払額	△13,644	△16,052
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,906	△89,521
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△40,330	△73,540
現金及び現金同等物の期首残高	568,592	575,892
現金及び現金同等物の中間期末残高	528,262	502,352

(訂正後)

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	38,672	52,382
減価償却費	4,950	5,597
のれん償却額	17,835	17,835
賞与引当金の増減額（△は減少）	△3,561	8,741
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	4,708	1,105
受取利息及び受取配当金	△53	△452
支払利息	4,903	5,091
保険解約益	1,182	—
売上債権の増減額（△は増加）	14,328	3,352
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,073	△4,348
仕入債務の増減額（△は減少）	2,008	△4,072
未払費用の増減額（△は減少）	△29,312	8,099
未払消費税等の増減額（△は減少）	△5,781	612
その他	△6,675	△4,319
小計	42,132	89,626
利息及び配当金の受取額	52	450
利息の支払額	△4,903	△5,091
法人税等の支払額	△19,253	△19,612
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,027	65,373
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,639	△2,161
無形固定資産の取得による支出	△1,490	—
リース資産の取得による支出	880	712
保険積立金の積立による支出	△3,563	△3,563
保険積立金の解約による収入	361	—
定期預金の預入による支出	—	△50,000
定期預金の払戻による収入	—	8,667
その他	—	△3,036
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,451	△49,381
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	41,000	15,000
長期借入金の返済による支出	△77,886	△75,392
社債の償還による支出	—	△10,000
リース債務の返済による支出	△2,376	△3,077
配当金の支払額	△13,644	△16,052
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,906	△89,521
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△40,330	△73,529
現金及び現金同等物の期首残高	568,592	575,892
現金及び現金同等物の中間期末残高	528,262	513,990

以上